

● CONTENTS ●

特集

Special Features

情報セキュリティ研究開発の動向

Trends on Information Security Research and Development

692 編集にあたって 村瀬一郎

Foreword Ichiro MURASE (Mitsubishi Research Institute, Inc.)

693 1. 情報セキュリティの研究開発の動向 徳田英幸

Trends on Information Security Research and Development Hideyuki TOKUDA (Keio Univ.)

699 2. ミクロな分析技術の動向 篠田陽一

Microscopic Analysis of Malwares and Their Behaviors Yoichi SHINODA (National Institute of Information and Communications Technology)

707 3. マクロな分析技術の動向 小林偉昭・寺田真敏・永安佑希允・中村章人

Technical Trend of the Macro Analysis in Incident Handling Hideaki KOBAYASHI, Masato TERADA, Yukinobu NAGAYASU (Information-technology Promotion Agency, Japan) and Akihito NAKAMURA (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

713 4. 分析の結果に基づく対策技術の動向 門林雄基

Recent Trends in Analysis-driven Countermeasure Technologies Youki KADOBAYASHI (Nara Institute of Science and Technology)

718 5. インシデント対応におけるミクロ分析とマクロ分析の融合に向けて 村瀬一郎

Uniting the Micro Analysis and the Macro Analysis in Incident Handling Ichiro MURASE (Mitsubishi Research Institute, Inc.)

726 6. セキュリティホールを作り込まない技術の動向 渡辺 創

Research Trends on Techniques Not to Embed Security Holes Hajime WATANABE (National Institute of Advanced Industrial Science and Technology)

737 7. プライバシ保護のためのアーキテクチャ 小松文子

Privacy Conscious Architecture in Identity & Access Management Ayako KOMATSU (NEC Corp.)

744 8. プライバシ保護のための要素技術の動向 岡本栄司

Recent Research of Basic Technologies for Privacy Protection Eiji OKAMOTO (Univ. of Tsukuba)

解説

Articles

750 モバイル端末のためのユーザインタラクション技術（後編）－入力対話技術－

旭 敏之・仙田修司・磯谷亮輔

Novel Technologies for Mobile User Interaction (2nd part) Input Methods Toshiyuki ASahi, Shuji SENDA and Ryosuke ISOTANI (NEC Corp.)

報告

Reports

平成18年度論文賞の受賞論文紹介

The Heisei 18 IPSJ Best Paper Award

758 編集にあたって 平田圭二

Foreword Keiji HIRATA (NTT Communication Science Labs.)

759 まわりみちの威力 千代英一郎

Shortcut Through a Roundabout Way Eiichiro CHISHIRO (Hitachi, Ltd.)

- 760 研究の世界に飛び込んで** 白井達也・遠藤敏夫・田浦健次朗・近山 隆
Diving into the Research World Tatsuya SHIRAI (Ricoh Company, Ltd.), Toshio ENDO (Tokyo Institute of Technology), Kenjiro TAURA and Takashi CHIKAYAMA (The Univ. of Tokyo)
- 761 Q, R の次は O, そして P...** 酒井哲也
After Q and R Comes O, then P... Tetsuya SAKAI (NewsWatch, Inc.)
- 762 Overlay Weaver ができるまで** 首藤一幸
Overlay Weaver : An Overlay Construction Toolkit Kazuyuki SHUDO (Utagoe Inc.)
- 763 匿名ユーザを失効させる別発想からのアプローチ** 米沢祥子・佐古和恵
Another Approach for a Revocation Problem in Group Signatures Shoko YONEZAWA and Kazue SAKO (NEC Corp.)
- 764 新たなモバイル時代のための新たなアーキテクチャを目指して** 横田英俊
Toward the New Architecture for the New Mobile Era Hidetoshi YOKOTA (KDDI R&D Labs., Inc.)
- 765 自然言語の文法記述との類推に基づく構造化文書処理技術の開発** 今村 誠
A Structured Document Processing Method Based on Analogy with Grammar Description of Natural Language Makoto IMAMURA (Mitsubishi Electric Corp.)
- 766 情報科学的に美しい可視化アプローチの探求** 竹島由里子・高橋成雄・藤代一成
Quest for A True Computer Science Approach to Visualization Yuriko TAKESHIMA (Tohoku Univ.), Shigeo TAKAHASHI (The Univ. of Tokyo) and Issei FUJISHIRO (Tohoku Univ.)
- 767 CV か CG か?** 町田貴史
CV or CG? Takashi MACHIDA (Toyota Central R&D Labs., Inc.)

- 775 第 17 回世界コンピュータ将棋選手権報告** 伊藤毅志
A Report of 17th World Computer Shogi Championship Takeshi ITO (The Univ. of Electro-Communications)

連載 Series

- 768 グリッドと SOA からみる Web サービス標準技術** Web サービスセキュリティの最新動向
ー WS-Securityと WS-SX (WS-SecureExchange) 関連仕様 (2) 佐藤史子
Explanations of Web Service Standards from the Viewpoint of Grid Computing and Service Oriented Architecture : Trends of Web Services Security (2) - WS-Security and WS-SX (WS-SecureExchange) Specifications Fumiko SATOH (IBM Japan, Ltd.)
- 780 これからの情報処理学会** 国際担当の目から見た学会改革 安信千津子
Thoughts about the Future IPSJ : Academic Society Transformation from Abroad Chizuko YASUNOBU (Hitachi Consulting Co., Ltd.)
- 783 これからの情報処理学会** ディペンダブル情報社会へ 坂井修一
Thoughts about the Future IPSJ : Toward the Society with Dependable Information Processing Shuichi SAKAI (The Univ. of Tokyo)

コラム Columns

- 786 研究会千夜一夜** 深縁なる設計技術の革新を求めてーシステム LSI 設計技術研究会ー 坂圭主史
1001 SIG Nights : For The Innovations in System LSI Design - Special Interest Group on SLDM - Keishi SAKANUSHI (Osaka Univ.)
- 788 研究会千夜一夜** 高性能計算〜システムと応用の良き仲人を目指して〜 (HPC 研究会) 朴 泰祐
1001 SIG Nights : High Performance Computing - Toward a Helpful Match-maker between the System and Applications Taisuke BOKU (Univ. of Tsukuba)
- 790 標準化よもやま話** 研究開発と標準化 棟上昭男
Small Talk on Standardization : R&D and Standardization Akio TOJO

トピックス Topics

- 756 中学生が学会にやってきた** 兼宗 進・久野 靖

その他

- | | |
|-----------------------|----------------------------|
| 778 おふいすらん | 805 アンケート用紙 |
| 792 会員の広場 | 806 編集室／次号予定目次 |
| 794 IPSJ カレンダー | 807 掲載広告カタログ・資料請求用紙 |
| 796 人材募集 | 808 賛助会員のご紹介 |
| 802 有料会告 | |



規格部

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel(03)3431-2808 Fax(03)3431-6493 E-mail:standards@itscj.ipsj.or.jp http://www.itscj.ipsj.or.jp/

支部

北海道／東北／東海／北陸／関西／中国／四国／九州



先月個人的に受け取ったメールのスパム率は87%だった。もっと多い人の話も聞く。ネットワーク経由の陽な攻撃を含めて、“何とかならないか”というのが万人の思いだろう。今月号の特集「情報セキュリティ研究開発の動向」はその関係の内容。村瀬一郎がエディタ。情報セキュリティ体制を高度化するための「オールジャパン体制」（概念より）構築の試みだそう。攻撃プログラムレベル（マイクロ分析）、定点観測や関連データベース（マクロ分析）、IPトレースバック等（対策技術）、特定のセキュリティ事象に対する実証（マイクロとマクロの融合）、といった対策研究のほかに、安全なコード作成手法、プライバシー保護技術、など。

報告「平成18年度論文賞の受賞論文紹介」は、平田圭二がエディタ。今年度から始めた企画で、毎年選定されている論文賞の内容を受賞者ご自身に紹介していただくもの。今年度は555編の対象論文の中から9編が選ばれ、総会の席上で表彰された。論文をより身近に感じてほしいという願いも込めている。

「第17回世界コンピュータ将棋選手権報告」（伊藤毅志）は、5月に開かれた大会のレポート。昨年は新登場のBonanzaが優勝をさらったが、今年はこれを含む四つ巴になったらしい。また、将棋に関するソフトウェア技術も着実に進歩しているという。外野としては、“手の意味”のコンピュータによる理解にも努力してほしいところである。

「モバイル端末のためのユーザインタラクション技術（後編）ー入力対話技術ー」（旭敏之、仙田修司、磯谷亮輔）は、テキスト入力のさまざまな方式の技術紹介。

「国際担当の目から見た学会改革」（安信千津子）は“これからの情報処理学会”のシリーズ。学協会をめぐる国際的な状況の紹介。IEEE-CSとBCSのスタッフ数にくらべて... の後は書かれていなかった。

「ディペンドブル情報社会へ」（坂井修一）も同じシリーズ。信頼性等を広く考えたディペンドビリティを学会にあてはめて議論するユニークな内容。

「Webサービスセキュリティの最新動向ーWS-SecurityとWS-SX（WS-Secure Exchange）関連仕様（2）」（佐藤史子）は“グリッドとSOAからみるWebサービス標準技術”のシリーズ。例によって略号に富んだ記事であるが、サービス統合を行うBPELをセキュリティ面で支えるレイヤの話。

「深縁なる設計技術の革新を求めてーシステムLSI設計技術研究会ー」（坂圭圭史）と「高性能計算ーシステムと応用の良き仲人を目指してー」（朴泰祐）とは、“研究会千夜一夜”のシリーズ。前者では、システムLSIに関する設計技術を中心とした活動により、企業関係者の参加率が高いことが報告されている。後者は、HPC研究がもともととは数値解析に端を発し、トータルシステムとしての性能追求を目指していることの紹介。

「研究開発と標準化」（棟上昭男）は“標準化よもやま話”のシリーズ。日本における標準化活動の認知度の低さの指摘と、情報処理学会試行標準の紹介。

「中学生が学会にやってきた」（兼宗進・久野靖）は、「情報処理学会はコンピュータのメッカ」と信じて訪問してきた中学生との対話報告。修学旅行の研究の1つらしい。遅くとも中学生レベルからの情報についての啓蒙の重要性が感じられる。（Skay）



会誌編集委員会

編集長

川合 慧

担当理事

長谷川 亨

松原 仁

本号エディタ

石田 亨

片山 博

兼宗 進

木戸 彰夫

久門 耕一

胡 振江

佐伯 元司

白木 善尚

田中 哲朗

土井美和子

平田 圭二

前田 英作

間瀬 久雄

三浦健次郎

村瀬 一郎

山本里枝子

編集スタッフ

後路 啓子

町田 善江

綿谷 亜樹